

第66回 昭和大学学会総会

日時 2019年11月30日(土) 13:00～16:15
場所 昭和大学1号館7階講堂
担当 医学部内科学講座(脳神経内科学部門)
医学部皮膚科学講座
歯学部歯科矯正学講座
歯学部インプラント歯科学講座
薬学部基礎医療薬学講座薬理学部門
薬学部基礎医療薬学講座薬剤学部門

第66回昭和大学学会総会

I. 教育講演

医療貢献を指向した臨床分析化学

昭和大学薬学部基礎薬学講座生体分析化学部門教授 加藤 大…208

相対的ヒューマニズムへの展望

～ヘルダーリンから宮崎駿へ～

昭和大学富士吉田教育部教授 田中 周一…208

成人期の発達障害

昭和大学医学部精神医学講座教授 岩波 明…208

II. 昭和大学学会学術奨励賞授与

1. Wettability of Dentin Structure after Exposure to Excimer UV Irradiation

Department of Conservative Dentistry, Division of Biomaterials and Engineering,
Showa University School of Dentistry
Shuta MURAO

The Showa University Journal of Medical Sciences, 2018;30:477-485.

2. 間質性肺炎合併自己免疫性炎症性筋疾患における ADAM-17 の検討

昭和大学医学部内科学講座(リウマチ・膠原病内科学部門) 西見 愛里
昭和学会雑誌, 2018;78:126-134.

3. Propofol Prevents Amyloid- β -Induced Neurotoxicity through Suppression of Cytosolic Ca^{2+} and MAPK Signaling Pathway in SH-SY5Y Cells

Department of Pharmacology, Showa University School of Medicine,
Ran ONO

The Showa University Journal of Medical Sciences, 2018;30:211-226.

4. 関節リウマチ滑膜病変における A disintegrin and metalloprotease (ADAM) -15 の役割： 血管新生の側面からの検討

昭和大学医学部内科学講座(リウマチ・膠原病内科学部門) 西見 慎一郎
昭和学会雑誌, 2018;78:117-125.

5. Involvement of Adrenomedullin Expression in Tumor Cells and Stroma in the Development of Diabetes in Pancreatic Cancer Patients
Department of Pathology and Laboratory Medicine,
Showa University School of Medicine
Hideyuki IMAI
The Showa University Journal of Medical Sciences, 2018;30:341-349.
6. Therapeutic Effect of an Immunomodulator on Pancreatic Endocrine Secretion Disorder and Insulinitis in an Animal Model of Autoimmune Pancreatitis
Department of Medicine, Division of Gastroenterology,
Showa University School of Medicine
Yuta MITSUI
The Showa University Journal of Medical Sciences, 2018;30:197-210.
7. Potential Application of Raman Spectroscopy for Real-time Diagnosis and Classification of Colorectal Cancer
Department of Surgery, Division of General and Gastroenterological Surgery,
Showa University Fujigaoka Hospital
Ryuichi SEKINE
The Showa University Journal of Medical Sciences, 2018;30:381-389.

Ⅲ. ポスター発表

1. イチヨウ酢の抗肥満効果と作用機序の解析
歯学研究科 歯学専攻美容歯科学 細田 秀剛・ほか…209
2. 新生児栄養に関する NICU 看護師の知識調査
医学研究科 生理系解剖学肉眼解剖学分野専攻 浅井 秀幸・ほか…209
3. 極低出生体重児の栄養管理方法に関する調査
—日本における母乳バンク普及前の現況—
医学研究科 社会医学系衛生学公衆衛生学専攻 及川 洸輔・ほか…209
4. 昭和大学スポーツ運動科学研究所栄養部門 4 年間の栄養サポート実践報告
スポーツ運動科学研究所 安部 聡子・ほか…209
5. 長寿関連ミトコンドリア DNA 5178 C/A 多型は腎機能への加齢の影響を修飾する
—日本人男性の健康診断受検者における探索的横断研究—
医学研究科 社会医学系衛生学公衆衛生学専攻 大津 威一郎・ほか…210
6. 高度肥満症患者における体重減少とその維持に関与する因子の検討
医学研究科 内科系内科学（糖尿病・代謝・内分泌内科学分野）専攻 田所 梨枝・ほか…210
7. 鼻閉と顎顔面成長発育の関係について
歯学研究科 歯学専攻歯科矯正学 羽入田 佳美・ほか…210
8. 顎裂部へのインプラント治療後の上顎歯槽弓形態の変化に関する検討
歯学研究科 歯学専攻顎顔面口腔外科学 安 吉 祐・ほか…210
9. 機能的顎矯正装置による下顎の応力と関節結節形態の関連性について
歯学研究科 歯学専攻歯科矯正学 鬼丸 美菜子・ほか…210
10. 顎顔面骨格と咬合彎曲の関連性に関する研究
歯学研究科 歯学専攻歯科矯正学 上原 めぐみ・ほか…210
11. 開咬を伴う骨格性下顎前突症患者の symphysis 及び下顎臼歯部の歯槽骨幅径の特徴
歯学研究科 歯学専攻歯科矯正学 若 杉 寛・ほか…210
12. フッ化物応用によるハイドロキシアパタイト単結晶表面改質の結晶学的解析
歯学研究科 歯学専攻小児成育歯科学 志 賀 友 里・ほか…211

13. リング型乳房専用 PET 装置の診断能と有用性の検討
 医学研究科 外科系外科学（乳腺外科学分野）専攻 橋本梨佳子・ほか…211
14. 3D カメラを用いた唇裂患者の顔面計測：体位による手術デザインの変化
 医学研究科 外科系形成外科学専攻 津田 智子・ほか…211
15. 口腔内スキャナーを用いたデジタル辺縁形成の検証
 歯学研究科 歯学専攻歯科補綴学 中澤(谷口)飛鳥・ほか…211
16. 3D プリンターに用いる矯正装置用コンポジットレジンについての研究
 歯学研究科 歯学専攻歯科矯正学 加藤 梨友・ほか…211
17. 口腔内スキャナーによる顎間関係記録の再現性に関する検討
 歯学研究科 歯学専攻歯科補綴学 岩内洋太郎・ほか…211
18. マイクロ CT による自家骨移植海綿骨形態解析
 歯学研究科 歯学専攻口腔解剖学 今村 栄作・ほか…211
19. iPS 細胞を用いた睡眠時ブラキシズム病態解析モデルの確立
 歯学研究科 歯学専攻歯科補綴学 中井 健人・ほか…212
20. マウス唾液腺幹細胞老化の解析
 歯学研究科 歯学専攻顎顔面口腔外科学 高松 弘貴・ほか…212
21. 髄鞘を標識した遺伝子改変メダカの骨折治癒モデルから推測される神経と骨の関係
 医学研究科 病理系薬理学（医科薬理学分野）専攻 百々 悠介・ほか…212
22. 遺伝子組み換えトロンボモジュリンのラット抗 GBM 抗体腎炎における腎不全進行抑制効果
 と機序の検討
 医学研究科 内科系内科学（腎臓内科学分野）専攻 金澤 伸洋・ほか…212
23. 喘息モデルマウスにおけるメサコリン吸入による反復的気管支収縮の影響
 医学研究科 内科系内科学（呼吸器・アレルギー内科学分野）専攻 宮田 祐人・ほか…213
24. 脂質異常症モデルマウスは切歯の象牙質肥厚を伴う歯髄狭窄を呈する
 歯学研究科 歯学専攻地域連携歯科学 黒滝優太郎・ほか…213
25. 昭和大学頭頸部腫瘍センターの役割と症例検討
 頭頸部腫瘍センター 倉澤 侑也・ほか…213
26. 昭和大学頭頸部腫瘍センターにおける口腔リハビリテーション科介入の紹介
 頭頸部腫瘍センター 田下 雄一・ほか…214
27. 微小胃癌における NBI 併用拡大内視鏡の診断能の検討
 医学研究科 内科系内科学（消化器内科学分野）専攻 吉本 和仁・ほか…214
28. 牡丹葉抽出液の扁平上皮癌に対し抗腫瘍性効果を示す物質の単離と薬理効果の解析
 歯学研究科 歯学専攻顎顔面口腔外科学 中村 真輔・ほか…214
29. チオ硫酸銀錯体による抗腫瘍作用の検討
 薬学部 基礎薬学講座薬物動態学部門 太田 晃・ほか…214
30. miRNA による口腔がん細胞のシスプラチン耐性獲得機序の解明
 歯学研究科 歯学専攻顎顔面口腔外科学 筑田 洵一郎・ほか…215
31. In Vitro 及び In Vivo における鼻細胞でのチオレドキシシン産生に及ぼすケルセチンの影響
 保健医療学研究科 保健医療学専攻生体機能・形態解析領域 江戸由佳子・ほか…215
32. NMDA 受容体拮抗薬が骨関連細胞および骨修復に及ぼす影響
 歯学研究科 歯学専攻インプラント歯科学 清原 秀一・ほか…215
33. 除脳ラット動脈灌流標本を用いた咀嚼様神経活動の誘発
 歯学研究科 歯学専攻歯周病学 大藤 拓生・ほか…215
34. ストレキニン投与が脊髄介在ニューロンの吸息性活動に与える影響
 医学研究科 生理系生理学（生体調節機能学分野）専攻 三上 貴弘・ほか…215
35. 付着上皮の由来に関する免疫組織学的研究
 歯学研究科 歯学専攻口腔解剖学 北村 泰子・ほか…216

36. 除タンパクウシ海綿骨の吸収機構解析
 歯学研究科 歯学専攻口腔解剖学 成川正之・ほか…216
37. 検像システム導入による撮影技術教育と医療安全防止の効果について
 保健医療学研究科 保健医療学専攻生体機能・形態解析領域 秋山真之・ほか…216
38. 作業療法学科反転学習の成果
 —正課授業学生の反応—
 保健医療学部 作業療法学科 作田浩行・ほか…216
39. スーパー救急病棟における措置入院患者の現状と課題
 医学研究科 内科系精神医学専攻 齋藤綾華・ほか…216
40. 救急外来における頻回受診に関連する要因
 医学研究科 社会医学系衛生学公衆衛生学専攻 池田圭一郎・ほか…216
41. 皮膚外科診療における境界型パーソナリティ障害患者の自傷への対応
 医学研究科 外科系形成外科学専攻 藍 嵐・ほか…216
42. 昭和大学病院歯科・歯科口腔外科における麻酔科術前外来患者に対する周術期等口腔機能管理の
 2018 年の実態
 歯学部 スペシャルニーズ口腔医学講座地域連携歯科学部門 浅井英之・ほか…217
43. 昭和大学病院歯科・口腔外科における医科歯科連携における歯科依頼の動向
 歯学部 スペシャルニーズ口腔医学講座地域連携歯科学部門 安藤有里子・ほか…217
44. 昭和大学スポーツ運動科学研究所における歯科診療チームの取り組み
 スポーツ運動科学研究所 浅川剛吉・ほか…218
45. オーバーヘッドアスリートの上肢機能の特徴
 ～非オーバーヘッドアスリートとの比較～
 藤が丘リハビリテーション病院リハビリテーションセンター 田村将希・ほか…218
46. 皮膚熱傷を低減させるための強出力集束超音波 (HIFU) 照射プロトコルの検証
 医学研究科 外科系産婦人科学専攻 西井彰悟・ほか…218
47. 内シヤントを全例に使用した頸動脈内膜剥離術 (Carotid Endarterectomy ; CEA) に関する検討
 —無血で安全な手術手技と治療成績に関して—
 医学研究科 外科系脳神経外科学専攻 鷺見賢司・ほか…218

教育講演

1. 医療貢献を指向した臨床分析化学

昭和大学薬学部基礎薬学講座生体分析化学部門
加藤 大

生体内に存在する物質の種類、量、局在は絶えず変動しているが、体内の調節機構によってその変動は一定の範囲内で維持されている。そして、その維持が困難になった状態が疾患であり、疾患の進行に伴い生体物質のバランスはより大きく崩れる。つまり、疾患に伴う生体内物質の僅かな変動を正確に測定し、早期に予防や治療を開始することができれば、発症を防ぎ、完治の可能性が大幅に高まると期待される。

そのような考えに基づき、生体分析化学部門と分子分析センターでは、生体試料に含まれるさまざまな物質の種類や量などを迅速・簡便により非侵襲で測定する手法を開発している。各種分析装置の専門家が所属する本部門の特徴を生かし、最近では、複数の測定法による分析結果を情報科学やナノテクノロジーなどの新しい科学技術を活用することで、既存の手法では測定が難しい生体物質の僅かな変動を分析する手法の開発を目指し、研究を進めている。本部門で開発された手法が臨床現場で活用できるように、今後も病院や大学の先生方と一緒に研究を推進して行きたいと考えている。

2. 相対的ヒューマニズムへの展望
～ヘルダーリンから宮崎駿へ～

昭和大学富士吉田教育部
田中 周一

ドイツの作家フリードリヒ・ヘルダーリン (Friedrich Hölderlin, 1770-1843) は、人生のほぼ半ばで統合失調症を発症し、その後は文学界への復帰をみることなく生涯を閉じた。その後半生に少なからぬ詩 (大半は自然を描いた短詩) を書き残したヘルダーリンの存命中に世に知られることとなった唯一の小説『ヒュペリオン』は、戦乱の時代に生きた主人公ヒュペリオンがさまざまな苦難の末に世を捨て、隠者として生きることを決意して全編を閉じる。この作品が知られることとなったのは、その

結尾を間近にひかえた場面で展開される激烈なドイツ批判による。批判の対象は自然への感謝を忘れた当時のドイツ人の姿であり、それに続く自然賛美をとおして、自然との一体化を核心とする新たなヒューマニズム像が提示される。

ルネサンス期以降のヒューマニズムの特徴のひとつは人間中心主義である。キリスト教を核とする中世の世界観を脱却し、人間の再発見を重視したこの思想は、すべての価値の頂点に人間存在を置くいわば絶対的ヒューマニズムである。

一方、自然と人間との複合的関係の枠内に人間を位置づけるヘルダーリンのヒューマニズムは、自然という外部世界の価値との相対的視点に立ってこそ人間の価値はその真の意義を獲得するという、いわば相対的ヒューマニズムである。

ヘルダーリンの提起するこの相対的ヒューマニズムの思想を、3.11 を経験した日本人の思索、とりわけ宮崎駿の人間・自然観と関連させつつ考察する。

3. 成人期の発達障害

昭和大学医学部精神医学講座
岩波 明

近年、児童思春期の領域に加えて、成人期における発達障害は、精神医学の分野においても、社会的にも大きな注目を集めている。これまで児童・思春期を中心として扱われていた発達障害が、成人期においても症状の持続がみられること、さまざまな併存疾患を伴うケースが高い頻度で認められることが広く知られるようになり、医療における治療に加えて、行政、福祉における対応・援助の重要性が認識されつつある。成人期の発達障害における主要な疾患は、ASD (自閉症スペクトラム障害) と ADHD (注意欠如多動性障害) である。ASD と ADHD は症状面での類似性が大きく、臨床的な鑑別が難しい例があることを報告したい。成人期の症例では、長年にわたり診断がつけられず、症状が慢性化し適切な対応を受けてこなかった例もみられている。1990年代の後半から企業経営の厳しさが増し、従業員に対する要求が過大になってきたこともあり、職場において、発達障害を持つ従業員の多少の「ずれ」も重大な瑕疵として認識されるようになってきている。一方、成人における発達障害の治療において重要であ

るのは、当事者本人が自らの症状や問題点を自覚することであり、現実の生活における対応策、解決策を見出していくプロセスである。この点に関して、昭和大学烏山病院における実践を中心に報告を行いたい。

ポスター発表

1. イチヨウ酢の抗肥満効果と作用機序の解析

昭和大学大学院歯学研究科歯学専攻美容歯科学

細田 秀剛¹⁾

¹⁾ 昭和大学歯学部歯科保存学講座美容歯科学部門

²⁾ 昭和大学薬学部基礎医療薬学講座毒物学部門

沼澤 聡²⁾, 真鍋 厚史¹⁾

【発表内容掲載論文】

投稿中または投稿予定

2. 新生児栄養に関する NICU 看護師の知識調査

昭和大学大学院医学研究科生理系解剖学肉眼解剖学分野専攻

浅井 秀幸^{1,2)}

¹⁾ 昭和大学医学部小児科学講座

²⁾ 昭和大学医学部解剖学講座 (肉眼解剖学部門)

水野 克己¹⁾, 大塚 成人²⁾

【発表内容掲載論文】

J Neonatal Nurs. 2020;26:57-58.

3. 極低出生体重児の栄養管理方法に関する調査

—日本における母乳バンク普及前の現況—

昭和大学大学院医学研究科社会医学系衛生学公衆衛生学専攻

及川 洸輔^{1,2)}

¹⁾ 昭和大学医学部衛生学公衆衛生学講座

²⁾ 昭和大学医学部小児科学講座

櫻井基一郎²⁾, 村川 哲郎²⁾

城所 励太²⁾, 中野 有也²⁾

浅井 秀幸²⁾, 落合 裕隆¹⁾

白澤 貴子¹⁾, 吉本 隆彦¹⁾

箕浦 明¹⁾, 小風 暁¹⁾

水野 克己²⁾

【発表内容掲載論文】

Pediatr Int. 2020;62:180-188.

4. 昭和大学スポーツ運動科学研究所栄養部門 4 年間の栄養サポート実践報告

¹⁾ 昭和大学スポーツ運動科学研究所

²⁾ 昭和大学保健医療学部看護学科

³⁾ 昭和大学藤が丘病院栄養科

⁴⁾ 昭和大学藤が丘リハビリテーション病院栄養科

安部 聡子^{1,2)}, 玉木 大輔^{1,3)}

石本 早紀^{1,4)}, 三邊 武幸¹⁾

【発表内容掲載論文】

投稿中または投稿予定

5. 長寿関連ミトコンドリア DNA 5178 C/A 多型は腎機能への加齢の影響を修飾する

—日本人男性の健康診断受検者における探索的横断研究—

昭和大学大学院医学研究科社会医学系衛生学公衆衛生学専攻

大津成一郎

昭和大学医学部衛生学公衆衛生学講座

落合 裕隆, 白澤 貴子

吉本 隆彦, 箕浦 明

崔 昌五, 小風 暁

【発表内容掲載論文】

J Physiol Anthropol. 2019;38:12.

6. 高度肥満症患者における体重減少とその維持に関与する因子の検討

昭和大学大学院医学研究科内科系内科学（糖尿病・代謝・内分泌内科学分野）専攻

田所 梨枝^{1,2)}

¹⁾ 昭和大学藤が丘病院糖尿病・代謝・内分泌内科

²⁾ 昭和大学スポーツ運動科学研究所

加地真理子¹⁾, 今井 秀之¹⁾

村井 謙允¹⁾, 黄川 恵慈¹⁾

飯坂 徹¹⁾, 大塚 史子¹⁾

磯 良崇²⁾, 三邊 武幸²⁾

長坂昌一郎^{1,2)}

【発表内容掲載論文】

Diabetol Int. 2020;11:41-48.

7. 鼻閉と顎顔面成長発育の関係について

昭和大学大学院歯学研究科歯学専攻歯科矯正学

羽入田佳美

昭和大学歯学部歯科矯正学講座

高橋 正皓, 榎 宏太郎

【発表内容掲載論文】

投稿中または投稿予定

8. 顎裂部へのインプラント治療後の上顎歯槽弓形態の変化に関する検討

昭和大学大学院歯学研究科歯学専攻顎顔面口腔外科学

安 吉 祐

昭和大学歯学部口腔外科学講座顎顔面口腔外科学部門

栗原 祐史, 代田 達夫

【発表内容掲載論文】

投稿中または投稿予定

9. 機能的顎矯正装置による下顎の応力と関節結節形態の関連性について

昭和大学大学院歯学研究科歯学専攻歯科矯正学

鬼丸美菜子

昭和大学歯学部歯科矯正学講座

榎 宏太郎, 高橋 正皓, 嶋崎 絢

【発表内容掲載論文】

投稿中または投稿予定

10. 顎顔面骨格と咬合彎曲の関連性に関する研究

昭和大学大学院歯学研究科歯学専攻歯科矯正学

上原めぐみ

昭和大学歯学部歯科矯正学講座

榎 宏太郎, 中納 治久

【発表内容掲載論文】

投稿中または投稿予定

11. 開咬を伴う骨格性下顎前突症患者の symphysis 及び下顎臼歯部の歯槽骨幅径の特徴

昭和大学大学院歯学研究科歯学専攻歯科矯正学

若杉 寛

昭和大学歯学部歯科矯正学講座

中納 治久, 榎 宏太郎

【発表内容掲載論文】

投稿中または投稿予定

12. フッ化物応用によるハイドロキシアパタイト単結晶表面改質の結晶学的解析

昭和大大学大学院歯学研究科歯学専攻小児成育歯科学

志賀 友里¹⁾

¹⁾ 昭和大大学歯学部小児成育歯科学講座

²⁾ 昭和大大学歯学部歯科保存学講座歯科理工学部門

³⁾ 昭和大大学歯学部スペシャルニーズ口腔医学講座
口腔衛生学部門

成澤 英明²⁾, 弘中 祥司³⁾

柴田 陽²⁾, 船津 敬弘¹⁾

【発表内容掲載論文】

投稿中または投稿予定

13. リング型乳房専用 PET 装置の診断能と有用性の検討

昭和大大学大学院医学研究科外科系外科学（乳腺外科学分野）専攻

橋本梨佳子¹⁾

¹⁾ 昭和大大学医学部外科学講座（乳腺外科学部門）

²⁾ 昭和大大学江東豊洲病院乳腺外科

³⁾ 昭和大大学医学部臨床病理診断学講座

明石 定子¹⁾, 松柳 美咲¹⁾

吉沢あゆは²⁾, 澤田 晃暢¹⁾

三浦 咲子³⁾, 瀧本 雅文³⁾

中村 清吾¹⁾

【発表内容掲載論文】

投稿中または投稿予定

14. 3D カメラを用いた唇裂患者の顔面計測：体位による手術デザインの変化

昭和大大学大学院医学研究科外科系形成外科学専攻
津田 智子¹⁾

¹⁾ 昭和大大学藤が丘病院形成外科

²⁾ 昭和大大学病院形成外科

藍 嵐¹⁾, 森岡 大地²⁾

佐藤 伸弘¹⁾, 土佐 泰祥¹⁾

大久保文雄¹⁾, 門松 香一¹⁾

【発表内容掲載論文】

投稿中または投稿予定

15. 口腔内スキャナーを用いたデジタル辺縁形成の検証

昭和大大学大学院歯学研究科歯学専攻歯科補綴学
中澤（谷口）飛鳥

昭和大大学歯学部歯科補綴学講座

西山 弘崇, 田中 晋平, 馬場 一美

【発表内容掲載論文】

投稿中または投稿予定

16. 3D プリンターに用いる矯正装置用コンポジットレジンについての研究

昭和大大学大学院歯学研究科歯学専攻歯科矯正学
加藤 梨友¹⁾

¹⁾ 昭和大大学歯学部歯科矯正学講座

²⁾ 昭和大大学歯学部歯科保存学講座歯科理工学部門

中納 治久¹⁾, 片岡 有²⁾

各務知菜美¹⁾, 堀田 康弘²⁾

柴田 陽²⁾, 槇 宏太郎¹⁾

【発表内容掲載論文】

投稿中または投稿予定

17. 口腔内スキャナーによる顎間関係記録の再現性に関する検討

昭和大大学大学院歯学研究科歯学専攻歯科補綴学
岩内洋太郎

昭和大大学歯学部歯科補綴学講座

田中 晋平, 馬場 一美

【発表内容掲載論文】

投稿中または投稿予定

18. マイクロ CT による自家骨移植海綿骨形態解析

昭和大大学大学院歯学研究科口腔解剖学

今村 栄作

昭和大大学歯学部口腔解剖学講座

馬谷原光織, 成川 正之, 中村 雅典

【発表内容掲載論文】

投稿中または投稿予定

19. iPS 細胞を用いた睡眠時ブラキシズム病態解析モデルの確立

昭和大学大学院歯学研究科歯学専攻歯科補綴学
中井 健人¹⁾

- ¹⁾ 昭和大学歯学部歯科補綴学講座
- ²⁾ 昭和大学歯学部口腔病態診断科学講座口腔病理学部門
- ³⁾ 昭和大学歯学部口腔生理学講座
安部 友佳¹⁾, 帆足有理恵¹⁾
小溪 啓介¹⁾, 松本 貴志¹⁾
安原 理佳²⁾, 美島 健二²⁾
中村 史朗³⁾, 井上 富雄³⁾
馬場 一美¹⁾

【発表内容掲載論文】
投稿中または投稿予定

20. マウス唾液腺幹細胞老化の解析

昭和大学大学院歯学研究科歯学専攻顎顔面口腔外科学
高松 弘貴¹⁾

- ¹⁾ 昭和大学歯学部口腔外科学講座顎顔面口腔外科学部門
- ²⁾ 昭和大学歯学部口腔病態診断科学講座口腔病理学部門
田中 準一²⁾, 鎌谷 宇明¹⁾
代田 達夫¹⁾, 美島 健二²⁾

【発表内容掲載論文】
投稿中または投稿予定

21. 髄鞘を標識した遺伝子改変メダカの骨折治癒モデルから推測される神経と骨の関係

昭和大学大学院医学研究科病理系薬理学（医科薬理学分野）専攻
百々 悠介^{1,2,3,4)}

- ¹⁾ 昭和大学医学部薬理学講座（医科薬理学部門）
- ²⁾ 昭和大学歯学部歯科薬理学講座
- ³⁾ 昭和大学薬理科学研究センター
- ⁴⁾ 昭和大学医学部整形外科学講座
- ⁵⁾ 東京大学医科学研究所（国際粘膜ワクチン開発研究センター）
茶谷 昌宏^{2,3)}, 畔津 祐季^{2,3)}
唐川亜希子^{2,3)}, 坂井 信裕^{2,3)}
古賀 貴子^{2,3,5)}, 辻 まゆみ^{1,3)}
高見 正道^{2,3)}, 稲垣 克記⁴⁾
木内 祐二^{1,3)}

【発表内容掲載論文】
投稿中または投稿予定

22. 遺伝子組み換えトロンボモジュリンのラット抗 GBM 抗体腎炎における腎不全進行抑制効果と機序の検討

昭和大学大学院医学研究科内科系内科学（腎臓内科学分野）専攻
金澤 伸洋
昭和大学医学部内科学講座（腎臓内科学部門）
伊與田雅之, 松本 啓
和田 幸寛, 鈴木 泰平
井 芹 健, 橘 翔平
柴田 孝則

【発表内容掲載論文】
投稿中または投稿予定

23. 喘息モデルマウスにおけるメサコリン吸入による反復的気管支収縮の影響

昭和大学大学院医学研究科内科系内科学（呼吸器・アレルギー内科学分野）専攻

宮田 祐人

昭和大学医学部内科学講座（呼吸器アレルギー内科学部門）

大田 進, 神野 恵美
平井 邦朗, 岸野 康成
井上 英樹, 本間 哲也
楠本壮二郎, 山本 真弓
渡部 良雄, 鈴木慎太郎
田中 明彦, 相良 博典

【発表内容掲載論文】

投稿中または投稿予定

24. 脂質異常症モデルマウスは切歯の象牙質肥厚を伴う歯髄狭窄を呈する

昭和大学大学院歯学研究科歯学専攻地域連携歯科学

黒滝優太郎^{1,2,3)}

- 1) 昭和大学歯学部スペシャルニーズ口腔医学講座 地域連携歯科学部門
- 2) 昭和大学歯学部歯科薬理学講座
- 3) 昭和大学薬理科学研究センター
- 4) 昭和大学医学部生化学講座
- 5) 昭和大学医学部内科学講座（リウマチ・膠原病内科学部門）
- 6) 昭和大学歯学部スペシャルニーズ口腔医学講座 障がい者歯科学部門
- 7) 昭和大学歯学部口腔生化学講座
坂井 信裕^{2,3)}, 宮崎 拓郎⁴⁾
細沼 雅弘^{3,5)}, 佐藤ゆり絵^{3,6)}
唐川亜希子^{2,3)}, 茶谷 昌宏^{2,3)}
マイヤース三恵¹⁾, 須澤 徹夫⁷⁾
根岸（古賀）貴子^{2,3)}, 上條竜太郎⁷⁾
宮崎 章⁴⁾, 高見 正道^{2,3)}
丸岡 靖史¹⁾

【発表内容掲載論文】

Sci Rep. 2020;10:102.

25. 昭和大学頭頸部腫瘍センターの役割と症例検討

1) 昭和大学頭頸部腫瘍センター

2) 昭和大学歯学部口腔外科学講座口腔腫瘍外科学部門

3) 昭和大学医学部耳鼻咽喉科学講座

4) 昭和大学歯学部スペシャルニーズ口腔医学講座 口腔リハビリテーション医学部門

倉澤 侑也^{1,2)}, 齊藤 芳郎^{1,2)}
守谷 崇^{1,2)}, 勝田 秀行^{1,2,3)}
江川 峻哉^{1,2,3)}, 櫛橋 幸民^{1,2,3)}
池田賢一郎^{1,2,3)}, 田下 雄一^{1,4)}
高橋 浩二^{1,4)}, 嶋根 俊和^{1,2,3)}

昭和大学では 2014 年 10 月に頭頸部腫瘍センターが設立され、医学部と歯学部が互いに連携・補完し、チーム医療を実践するために日々診療にあたっている。現在は歯学部口腔腫瘍外科、口腔リハビリテーション科、医学部耳鼻咽喉科、歯科衛生士などがチームとなり患者一人一人に対し、一貫した診療を行っている。そして 2018 年 1 月より昭和大学病院の電子カルテ化に伴い一つの診療科として独立し診療を行っている。

また、昭和大学頭頸部腫瘍センターは大学直属のセンターであり、昭和大学の藤が丘病院、横浜市北部病院、江東豊洲病院、歯科病院から昭和大学病院頭頸部腫瘍センターへ患者を紹介されることも多い。2017 年から地域の歯科医師会と合同で口腔癌検診を毎年行い、口腔癌の早期発見や医療連携にも力を入れている。今回、2018 年 1 月から 2019 年 9 月までに当センターを受診した症例を臨床的に検討するとともに、頭頸部腫瘍センターの大学、地域での役割について症例の紹介元を調べることにより検討したので報告する。

結果として地域の医科、歯科両方の診療所から多くの紹介患者を受け入れていた。また、前述した 4 病院からも紹介患者を受け入れて診療を行っていた。

このことから、当センターは地域の役割をはたすだけでなく昭和大学でも重要な役割をはたしていると考えられた。

26. 昭和大学頭頸部腫瘍センターにおける口腔リハビリテーション科介入の紹介

- 1) 昭和大学頭頸部腫瘍センター
- 2) 昭和大学歯学部スペシャルニーズ口腔医学講座
口腔リハビリテーション医学部門
- 3) 昭和大学歯学部口腔外科学講座口腔腫瘍外科学
部門

田下 雄一^{1,2)}, 服部 匠真^{1,2)}
 石黒 光哲^{1,2)}, 野末 真司^{1,2)}
 小池 丈司^{1,2)}, 原田 由香^{1,2)}
 勝田 秀行^{1,3)}, 齊藤 芳郎^{1,3)}
 守谷 崇^{1,3)}, 嶋根 俊和^{1,3)}
 高橋 浩二^{1,2)}

本センターは、医学部耳鼻咽喉科、歯学部口腔外科、口腔リハビリテーション科（以下当科）が連携を取り、頭頸部癌患者の QOL 向上を目的にチーム医療を実践している。今回は、本センターにおける当科の介入について紹介する。

【対象・方法】対象は 2018 年 4 月からの 1 年間に、本センターを受診し、当科が介入した患者とし、原発部位、介入時期、介入内容について、4 年前の開設年と比較した。

【結果】開設年に当科が介入した患者は 38 名、2018 年は 143 名であった。原発部位別では、開設年は舌 14 名、上顎 8 名、下顎 5 名、その他 11 名、2018 年度は咽頭 38 名、甲状腺 22 名、舌 21 名、下顎 12 名、上顎 8 名、その他 42 名であった。介入時期は、開設年では治療前 30 名、治療後 8 名に対し、2018 年では治療前 119 名、治療中 14 名、治療後 10 名であった。介入内容（重複含む）は、開設年は嚥下機能訓練 38 名、口腔内装置作製 30 名に対し、2018 年は口腔ケア 143 名、嚥下機能訓練 123 名、口腔内装置作製 72 名であった。

【考察】2018 年は、開設年と比較し、介入患者数はほぼ 4 倍となり、特に治療前からの介入が飛躍的に増加し、治療後の介入開始症例は開設年 21% だったのに対し、2018 年はわずか 7% であった。すなわち治療前より患者の QOL の維持向上に注力していることが明らかとなり、今後も本センターの一員として全力を傾ける所存である。

27. 微小胃癌における NBI 併用拡大内視鏡の診断能の検討

昭和大学大学院医学研究科内科系内科学（消化器内科学分野）専攻

吉本 和仁^{1,2)}

- 1) 熊本赤十字病院消化器内科
- 2) 昭和大学藤が丘病院消化器内科
高橋 寛²⁾, 長濱 正亞²⁾

【発表内容掲載論文】

投稿中または投稿予定

28. 牡丹葉抽出液の扁平上皮癌に対し抗腫瘍性効果を示す物質の単離と薬理効果の解析

昭和大学大学院歯学研究科歯学専攻顎顔面口腔外科学

中村 真輔¹⁾

- 1) 昭和大学歯学部口腔外科学講座顎顔面口腔外科学部門
- 2) 昭和大学歯学部口腔外科学講座口腔腫瘍外科学部門

椋代 義樹¹⁾, 鎌谷 宇明¹⁾
 嶋根 俊和²⁾, 代田 達夫¹⁾

【発表内容掲載論文】

投稿中または投稿予定

29. チオ硫酸銀錯体による抗腫瘍作用の検討

昭和大学薬学部基礎薬学講座薬物動態学部門

太田 晃, 佐藤 均
 杉山恵理花, 田島 正教

【発表内容掲載論文】

投稿中または投稿予定

30. miRNA による口腔がん細胞のシスプラチン耐性獲得機序の解明

昭和大学大学院歯学研究科歯学専攻顎顔面口腔外科学

筑田 洵一郎¹⁾

¹⁾ 昭和大学歯学部口腔外科学講座顎顔面口腔外科学部門

²⁾ 昭和大学歯学部口腔外科学講座口腔腫瘍外科学部門

代田 達夫¹⁾, 嶋根 俊和²⁾

鎌谷 宇明¹⁾

【発表内容掲載論文】

Cancer (Basel). 2020;12:856.

31. In Vitro 及び In Vivo における鼻細胞でのチオレドキシシン産生に及ぼすケルセチンの影響

昭和大学大学院保健医療学研究科保健医療学専攻生体機能・形態解析領域

江戸由佳子¹⁾

¹⁾ 昭和大学保健医療学研究科

²⁾ 昭和大学保健医療学部

³⁾ 人間総合科学大学保健医療学部
大 滝 周²⁾, 浅野 和仁³⁾

楯 玄 秀²⁾

【発表内容掲載論文】

Medicines (Basel). 2018;5:124.

32. NMDA 受容体拮抗薬が骨関連細胞および骨修復に及ぼす影響

昭和大学大学院歯学研究科歯学専攻インプラント歯科学

清原 秀一

¹⁾ 昭和大学歯学部インプラント歯科学講座

²⁾ 昭和大学歯学部歯科薬理学講座

³⁾ 昭和大学医学部整形外科学講座

飯田 和章³⁾, 山川 智之³⁾

坂井 信裕²⁾, 古賀 貴子²⁾

高見 正道²⁾, 尾関 雅彦¹⁾

【発表内容掲載論文】

投稿中または投稿予定

33. 除脳ラット動脈灌流標本を用いた咀嚼様神経活動の誘発

昭和大学大学院歯学研究科歯学専攻歯周病学
大藤 拓生^{1,2)}

¹⁾ 昭和大学歯学部口腔生理学講座

²⁾ 昭和大学歯学部歯周病学講座

中山希世美¹⁾, 中村 史朗¹⁾

望月 文子¹⁾, 壇辻 昌典¹⁾

山本 松男²⁾, 井上 富雄¹⁾

【発表内容掲載論文】

投稿中または投稿予定

34. ストレキニン投与が脊髄介在ニューロンの吸索性活動に与える影響

昭和大学大学院医学研究科生理系生理学（生体調節機能学分野）専攻

三上 貴弘¹⁾

¹⁾ 昭和大学医学部生理学講座（生体調節機能学部門）

²⁾ 昭和大学医学部整形外科学講座

³⁾ 昭和大学藤が丘病院整形外科学

飯塚真喜人¹⁾, 高橋 秀^{1,3)}

鬼丸 洋¹⁾, 稲垣 克記²⁾,

泉崎 雅彦¹⁾

【発表内容掲載論文】

投稿中または投稿予定

35. 付着上皮の由来に関する免疫組織学的研究

昭和大学大学院歯学研究科歯学専攻口腔解剖学
北村 泰子
昭和大学歯学部口腔解剖学講座
藤川 芳織, 福島美和子, 中村 雅典

【発表内容掲載論文】
投稿中または投稿予定

36. 除タンパクウシ海綿骨の吸収機構解析

昭和大学大学院歯学研究科歯学専攻口腔解剖学
成川 正之
昭和大学歯学部口腔解剖学講座
今村 栄作, 中村 雅典

【発表内容掲載論文】
投稿中または投稿予定

37. 検像システム導入による撮影技術教育と
医療安全防止の効果について

昭和大学大学院保健医療学研究科保健医療学専攻
生体機能・形態解析領域
秋山 真之
昭和大学大学院保健医療学研究科
加藤 京一

【発表内容掲載論文】
投稿中または投稿予定

38. 作業療法学科反転学習の成果

—正課授業学生の反応—

- ¹⁾ 昭和大学保健医療学部作業療法学科
- ²⁾ 昭和大学歯学部口腔解剖学講座
- ³⁾ 昭和大学保健医療学部看護学科
作田 浩行¹⁾, 増山英理子¹⁾
馬谷原光織²⁾, 鈴木 久義¹⁾
下司 映一³⁾

【発表内容掲載論文】
投稿中または投稿予定

39. スーパー救急病棟における措置入院患者
の現状と課題

昭和大学大学院医学研究科内科系精神医学専攻
齋藤 綾華
昭和大学医学部精神医学講座
山田 浩樹, 原田 敦子
山田 真理, 宇野 宏光
川合 秀明, 石川 文徳
平田 亮人, 徳増 卓宏
高 塩 理, 岩 波 明

【発表内容掲載論文】
精神医学. 2019;61:717-726.

40. 救急外来における頻回受診に関連する要因

昭和大学大学院医学研究科社会医学系衛生学公衆
衛生学専攻

池田圭一郎^{1,2,3)}

- ¹⁾ 昭和大学医学部衛生学公衆衛生学講座
- ²⁾ 昭和大学医学部総合診療医学講座
- ³⁾ 昭和大学医学部救急・災害医学講座
落合 裕隆¹⁾, 垂水 庸子^{2,3)}
原田 拓²⁾, 白澤 貴子¹⁾
吉本 隆彦¹⁾, 箕浦 明¹⁾
弘重 壽一²⁾, 小風 暁¹⁾
土肥 謙二³⁾

【発表内容掲載論文】
投稿中または投稿予定

41. 皮膚外科診療における境界型パーソナリ
ティ障害患者の自傷への対応

昭和大学大学院医学研究科外科系形成外科学専攻
藍 嵐¹⁾

- ¹⁾ 昭和大学医学部形成外科学講座
- ²⁾ 昭和大学藤が丘病院形成外科
住永莉華子²⁾, 渋谷 友香^{1,2)}
森岡 大地¹⁾, 門松 香一¹⁾

【発表内容掲載論文】
Skin Surg. 2019;28:94-99.

42. 昭和大学病院歯科・歯科口腔外科における麻酔科術前外来患者に対する周術期等口腔機能管理の 2018 年の実態

- 1) 昭和大学歯学部スペシャルニーズ口腔医学講座
地域連携歯科学部門
- 2) 昭和大学口腔ケアセンター
- 3) 昭和大学歯学部スペシャルニーズ口腔医学講座
口腔衛生学部門
- 4) 昭和大学病院歯科・歯科口腔外科
浅井 英之¹⁾, 安藤有里子¹⁾
刑部 月²⁾, 内海 明美³⁾
菱本 良平¹⁾, 柴田 由美⁴⁾
渡瀬穂奈美⁴⁾, 星野 大地¹⁾
土谷 絵里¹⁾, 江並 沙羅¹⁾
白倉 香子¹⁾, 弘中 祥司^{2,3)}
丸岡 靖史¹⁾

【発表内容掲載論文】

投稿中または投稿予定

43. 昭和大学病院歯科・口腔外科における医科歯科連携における歯科依頼の動向

- 1) 昭和大学歯学部スペシャルニーズ口腔医学講座
地域連携歯科学部門
- 2) 昭和大学病院歯科・歯科口腔外科
- 3) 昭和大学大学院保健医療学研究科
- 4) 昭和大学歯科病院歯科衛生室
- 5) 昭和大学口腔ケアセンター
- 6) 昭和大学歯学部スペシャルニーズ口腔医学講座
口腔衛生学講座
- 7) 昭和大学藤が丘病院歯科
安藤有里子¹⁾, 菱本 良平¹⁾
柴田 由美^{2,3)}, 木ノ内ひろ子²⁾
渡瀬穂奈美⁴⁾, 刑部 月⁵⁾
内海 明美⁶⁾, 土谷 絵里⁷⁾
江並 沙羅¹⁾, 白倉 香子¹⁾
浅井 英之¹⁾, 山口 麻子²⁾
佐藤あや子²⁾, 須田 玲子²⁾
弘中 祥司^{5,6)}, 丸岡 靖史¹⁾

【目的】昭和大学病院歯科・歯科口腔外科（以下当科）では医科の各科および麻酔科の術前外来と連携を図り、周術期等口腔機能管理として歯科の介入

を継続している。2018 年から麻酔科術前外来と連携を図ることで対象患者が大幅に拡大した。そこで、当科を受診した周術期患者の実態について調査を行ったので報告する。

【対象と方法】2015 年 1 月 1 日から 2018 年 11 月 30 日までに依頼を受け、口腔内診察を行った患者を対象とした。なお、これらのデータは匿名化されている情報を用いた。

【結果】総受診件数は 2073 件であった。診療科では消化器一般外科（23%）、呼吸器外科（15%）、心臓血管外科（14%）の 3 科が全体の約 52% を占めていた。悪性腫瘍、大動脈弁狭窄症、変形性股関節症等が多く見られた。麻酔科術前外来と連携をしたことで整形外科、乳腺外科、泌尿器科が増加した。

【考察と結論】麻酔科術前外来の後に歯科を受診することで、病院内の移動距離や診察時間など患者の負担が多少増加し、開始当初は患者から否定的な意見も聞かれた。だが、歯科医師だけではなく、麻酔科医師、主治医から歯科受診の必要性を説明し同意を得ることにより、理解が得られるようになった。また、麻酔科医師と連携することで、動揺歯や補綴物について伝達でき、術中の歯の損傷や脱落といった医療事故の抑制にも有益であると考えられた。今後も医科歯科連携の強化を図っていきたい。

44. 昭和大文学士スポーツ運動科学研究所における
歯科診療チームの取り組み

- 1) 昭和大文学士スポーツ運動科学研究所
- 2) 昭和大文学士歯学部小児成育歯科学講座
- 3) 昭和大文学士歯学部歯科矯正学講座
- 4) 昭和大文学士藤が丘病院歯科・歯科口腔外科
- 5) 昭和大文学士歯学部スペシャルニーズ口腔医学講座
顎関節症治療学部門
- 6) 昭和大文学士附属烏山病院歯科・歯科口腔外科
- 7) 昭和大文学士歯科病院歯科衛生室
浅川 剛吉^{1,2)}, 新田 雅一^{1,2)}
芳賀 秀郷^{1,3)}, 松浦 光洋^{1,4)}
船登 雅彦^{1,5)}, 杉本 承子⁶⁾
渡邊 友梨⁷⁾, 篠崎 由季⁷⁾
茂垣麻聡江⁷⁾, 鈴木 恵美⁷⁾
磯 良崇¹⁾, 西中 直也¹⁾
船津 敬弘²⁾, 横 宏太郎^{1,3)}
三邊 武幸¹⁾

【発表内容掲載論文】
投稿中または投稿予定

45. オーバーヘッドアスリートの上肢機能
の特徴
～非オーバーヘッドアスリートとの比較～

- 1) 昭和大文学士藤が丘リハビリテーション病院リハビリ
テーションセンター
- 2) 昭和大文学士スポーツ運動科学研究所
- 3) 昭和大文学士保健医療学部理学療法学科
- 4) 昭和大文学士藤が丘病院整形外科
田村 将希^{1,3)}, 神原 雅典^{2,3)}
松永 勇紀²⁾, 鈴木 昌^{2,4)}
田鹿佑太郎^{2,4)}, 三邊 武幸²⁾
西中 直也^{2,4)}

【発表内容掲載論文】
投稿中または投稿予定

46. 皮膚熱傷を低減させるための強出力集束
超音波 (HIFU) 照射プロトコルの検証

- 昭和大文学士大学院医学研究科外科系産婦人科学専攻
西井 彰悟¹⁾
- 1) 昭和大文学士医学部産婦人科学講座
 - 2) 昭和大文学士横浜市北部病院産婦人科
瀬尾 晃平²⁾, イズデブスキ龍也¹⁾
土肥 聡²⁾, 関沢 明彦¹⁾
市塚 清健²⁾

【発表内容掲載論文】
投稿中または投稿予定

47. 内シャントを全例に使用した頸動脈内膜剥
離術 (Carotid Endarterectomy ; CEA)
に関する検討
—無血で安全な手術手技と治療成績に関し
て—

- 昭和大文学士大学院医学研究科外科系脳神経外科学
専攻
鷲見 賢司¹⁾
- 1) 昭和大文学士医学部脳神経外科学講座
 - 2) 医療法人社団葵会 AOI 国際病院
 - 3) 公益財団法人東京都保健医療公社荏原病院
水谷 徹¹⁾, 杉山 達也¹⁾
飯塚 一樹²⁾, 久保美奈子³⁾
廣瀬 瑛介¹⁾, 新井晋太郎¹⁾
松本 政輝¹⁾, 佐藤 洋輔¹⁾
桑島 淳氏¹⁾, 中條 敬人¹⁾

【発表内容掲載論文】
脳卒中の外科。
2021;49:in press. (令和 3 年 5 月発行)